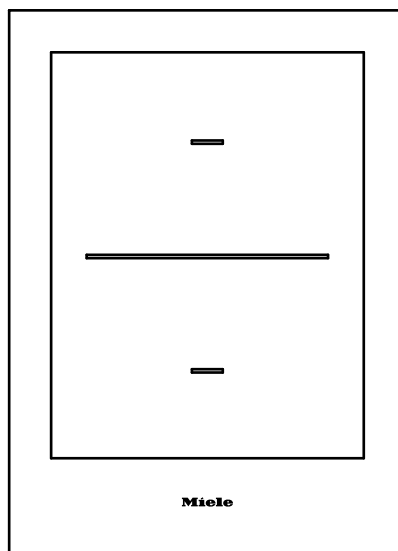


IH クッキングヒーター CS 7612 FL

設置・施工手順書

IH クッキングヒーター
CS 7612 FL



- ・ 本設置・施工手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ・ 設置・施工において、本説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。
- ・ お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガの恐れがあります。
設置は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。
- ・ 設置者は本書の内容をご理解の上、必ず事前に既存環境の下見を行い、
設置のために必要な工事内容を決定してください。
- ・ 設置環境に起因する問題は、設置環境側で改善していただく必要があります。
- ・ ガス機器から入れ替えられる場合は、必ずガス事業者へ事前にご連絡ください。ガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。閉栓もガス事業者へご依頼願います。
- ・ セラミックガラスの確認
本品は、セラミックガラス表面のひっかき傷などの欠点や欠損について入念に出荷検査を実施し、
完璧な状態で弊社の品質管理を合格しました。
特別な梱包でセラミックガラス表面やフレームがきずついたり、欠けたりしないよう保護しています。
しかし、万が一納品された本品の品質にご満足いただけない場合には、直ちに弊社にお知らせください。
本品に修正を加えたり、絶対にビルトインしないでください。
本品を損傷しないようにするために、ウォールユニットを取り付けるまではビルトインしたり、
カバーを取り外さないでください。
※ 何れの補償クレームについても、上記の指示に従い、速やかに弊社にご連絡して頂いた場合にのみ適用されます。

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063

東京都目黒区目黒 1-24-12

オリックス目黒ビル 4 階

商品の詳細・ご購入は、ミーレオンラインページ

<http://store.miele.co.jp>

またはミーレ・カスタマーサービス（通話無料）までお問い合わせください

ミーレ・カスタマーサービス

0120-310-647 (フリーダイヤル)

■受付時間 月～金 9:00～17:00 (土日・祝日 休業)

1. 安全上のご注意

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

警告



実行しない内容です。

- コンセントは設置後にユーザーが容易にアクセスできる位置に設けてください。
- 電気工事や接地工事は電気設備技術基準に準じて行ってください。本手順書の「電気設備」の項を参照してください。
- 電源は、単相 200V 専用コンセントアース付きの専用回路を用意し、D 種接地工事を必ず行ってください。
- 万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器を必ず取り付けください。(法令で規定)
- 本体の金属部が、家屋の金属板や流し台のステンレス板に電氣的に接触しないようにしてください。漏電した場合、火災の原因になります。



してはいけない内容です。

- 電源コードを切断、および直結することは絶対にしないでください。電源コンセントはそれぞれの機器に単独で、専用に設けてください。
- 絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
- 本製品は静止していない場所（船舶など）では設置・操作しないでください。
- 延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線は本製品の安全性を保障できません(火災のおそれ)。従って、本製品をそのような電源に接続しないでください。

注意



実行しない内容です。

- ワークトップは、100℃以上の耐熱材料のものを使用してください。耐熱性の低い材料を使用すると、変形や化粧板の剥がれの原因となります。

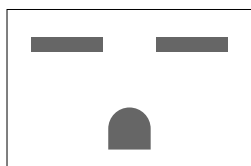


してはいけない内容です。

- 本製品は、冷蔵庫、食器洗い機、洗濯機、洗濯乾燥機、衣類乾燥機の上に設置しないでください。
- 試運転中、本製品は使用中高温になり、オフにした後もしばらく高温の状態が続きます。高温部には触れないようにしてください。

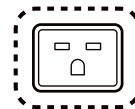
2. 電気設備

本体の周辺に単相 200V15A（アース付き）コンセントがある場合は工事不要です。



200V15A

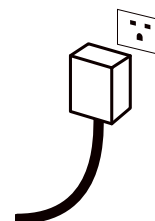
無い場合は新規設置もしくは変更工事(100V→200V15A)が必要となります。



推奨

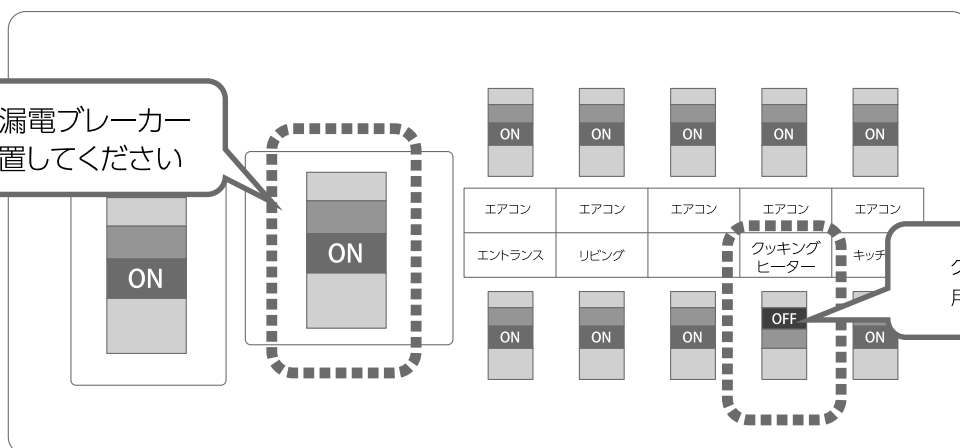
露出型 パナソニック WK3012
埋込型 パナソニック KN1112K

- ・ 本体設置後もユーザーが電源プラグへ簡単にアクセスできる状態にしてください。
- ・ コードが下向きに取り付けられるようにコンセントを用意してください。
- ・ コンセントは水滴のかかる恐れのない位置、万一漏水が発生した場合でも水がかからない位置に設置してください。



- ・ 本製品専用ブレーカーを用意してください。また必ず漏電ブレーカーを設置してください。
- ・ 必ず D 種接地工事を行ってください。

必ず漏電ブレーカー
を設置してください



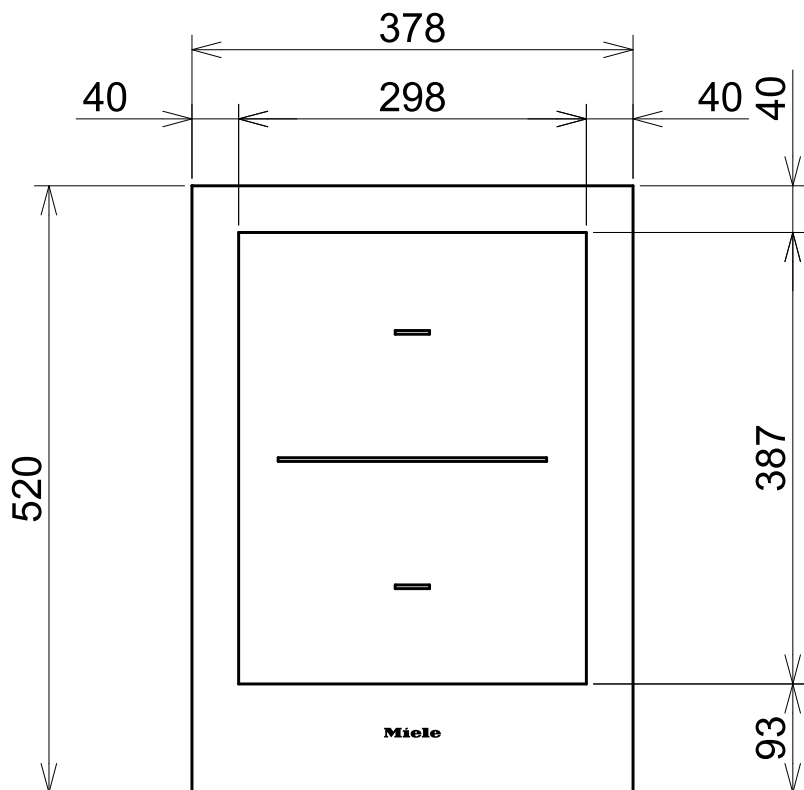
クッキングヒーター専用ブレーカーを
用意してください

3. 設置場所の確認

■ 外形寸法図

詳細な外形寸法図は miele.co.jp の「サービス」-「設置資料ダウンロード」参照

■ CS7612FL

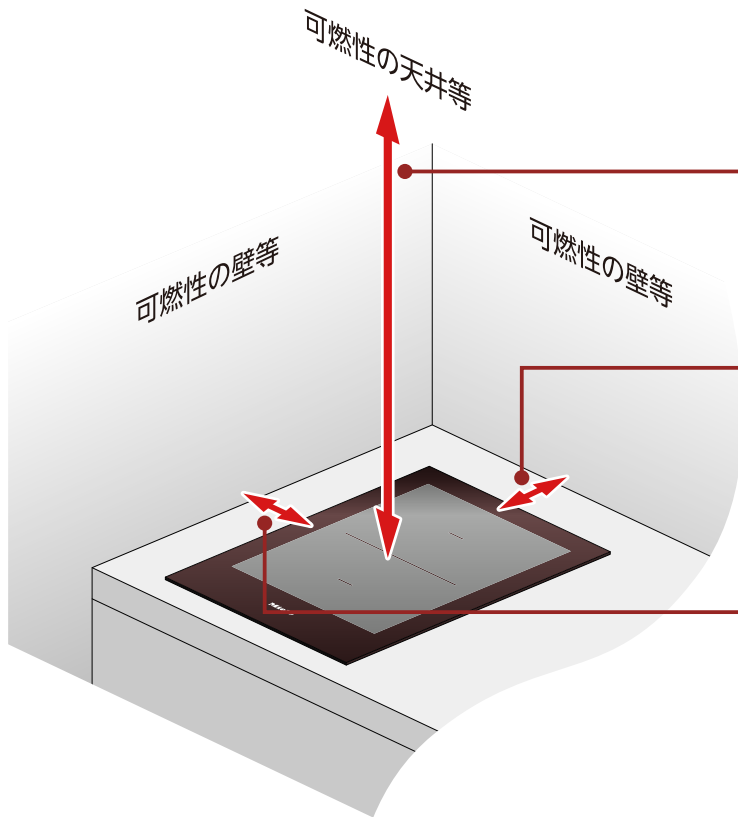


■ 壁・天井等からの離隔距離



- 火災予防防止条例、電気設備技術基準に従って設置してください。
- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に接触しないようにしてください。

可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合



天井までの離隔距離

- ・ 100cm 以上 (80cm)
- ※ () 内の数値は、上方がレンジフード及び不燃材の場合の距離

壁等までの離隔距離

- ・ 調理ゾーン外周より左右 10cm 以上または本体外縁から左右 2cm 以上 (0cm)。壁等までの距離はいずれか長い方の距離としてください。
- ※ () 内の数値は、壁等が不燃材または防熱板を取り付けた場合の距離

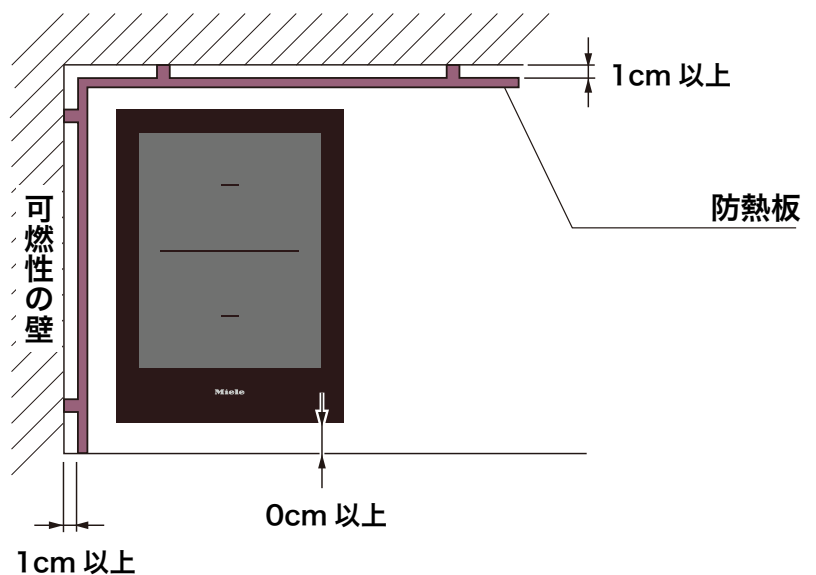
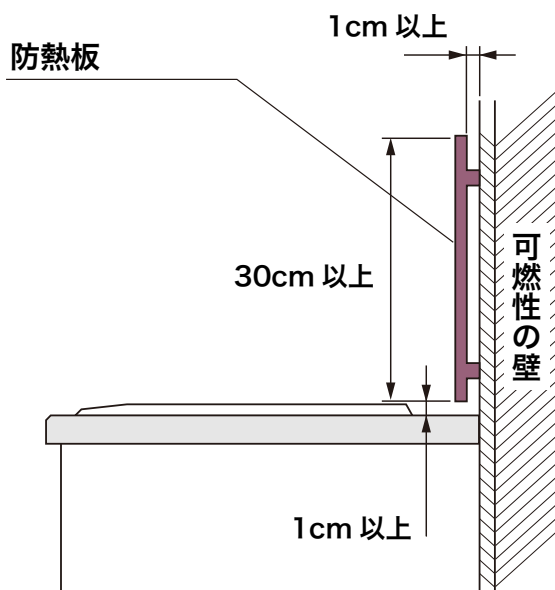


上記の寸法で距離を確保できない場合は、防熱版を取り付けてください

可燃性の壁からの離隔距離を確保して設置できない場合



- 防熱板を取り付けます。
- 本体の側面に防熱板を取り付ける場合にも左記と同じ距離を設けます。



■ 本体下方の換気

- クッキングヒーターは内部装置を冷却するファンが搭載されています。吸気及び換気出来るよう、機器直下と機器前面をふさがないようにしてください。
- クッキングヒーターの換気が十分に行われるよう、下方の離隔距離を確保する必要があります。換気が十分でないと、本体により多くの暖気を取り込まれ、過熱防止機能（火力の低下や停止）がより早く働いてしまいます。

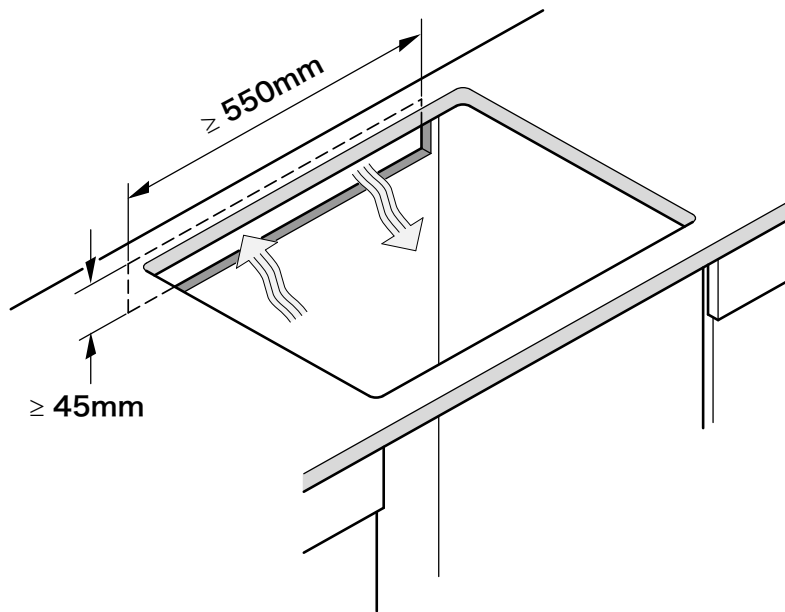
離隔距離を確保した設置には、次の3つのバリエーションがあります。

1. 中間棚や底板なし
2. 中間棚あり
3. 吸気に最適化された底板あり

複数の機器を設置する場合は、各機器の下にそれぞれの離隔距離を確保する必要があります。

いずれの場合も、換気と電源コード接続のため、後方に下図の開口を作ります。

さらに、可能であれば前方にも高さ 5 ～ 10mm 程度の間隙を設けてください。



1. 中間棚や底板なし

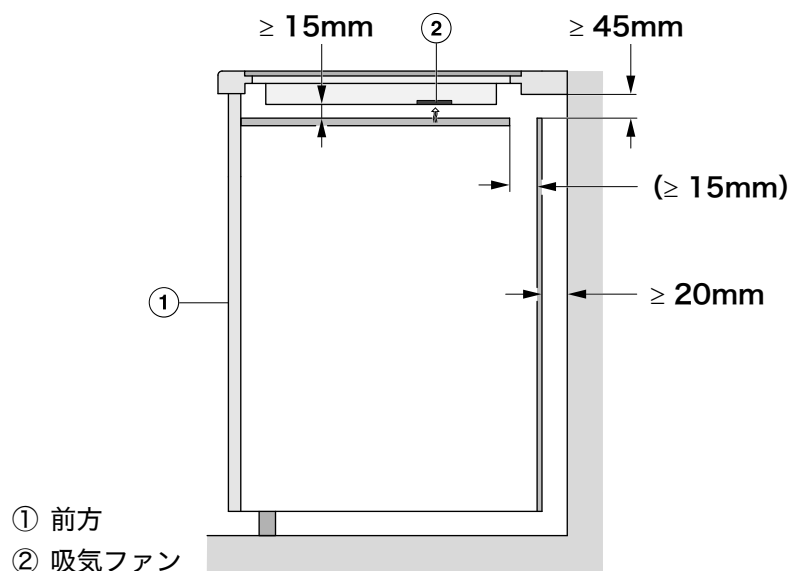
適切な換気を確保するため、本製品と引き出しやオープンとの間には離隔距離が必要です。

本製品の底面からの離隔距離：

- ・ 引き出しの上端まで : $\geq 5 \text{ mm}$
- ・ 引き出しの底面まで : $\geq 75 \text{ mm}$
- ・ オープン上部まで : $\geq 15 \text{ mm}$

2. 中間棚あり

カッコ内の寸法は推奨値です。



3. 吸気に最適化された底板あり

底板のファンの位置に開口を設けることで、吸気を最適化するパターンです。

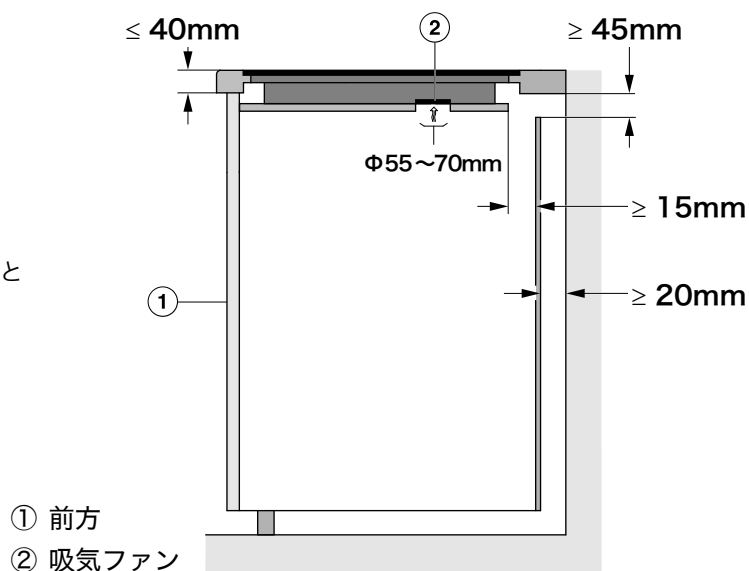
本体前方からの排気は本体側方を通して後方に抜けるようになり、排気が再び吸気ファンから本体に入ることを防ぎます。

十分な換気確保するため、吸気に最適化された底板の底面と引き出しとの間に離隔距離が必要です。

吸気に最適化された底板の底面からの離隔距離：

- ・ 引き出しの上端まで： $\geq 5\text{ mm}$
- ・ 引き出しの底面まで： $\geq 75\text{ mm}$

中間棚の設置は不可



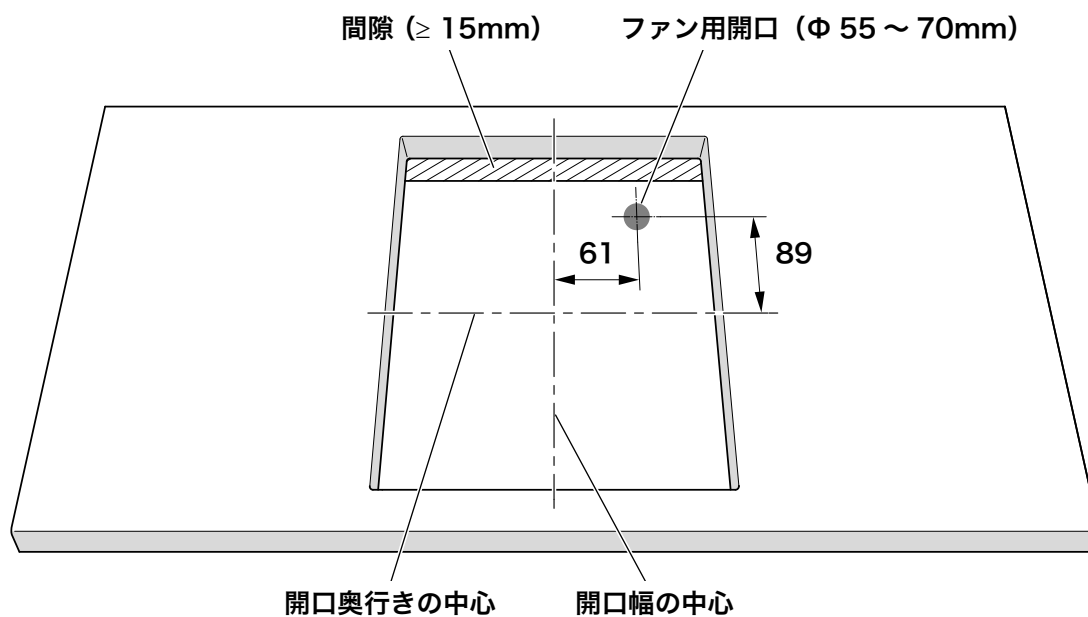
注意

吸気に最適化された底板と本製品の間に隙間がないようにしてください。

隙間があると、より多くの暖気を取り込まれてしまい、本製品が十分に冷却されません。

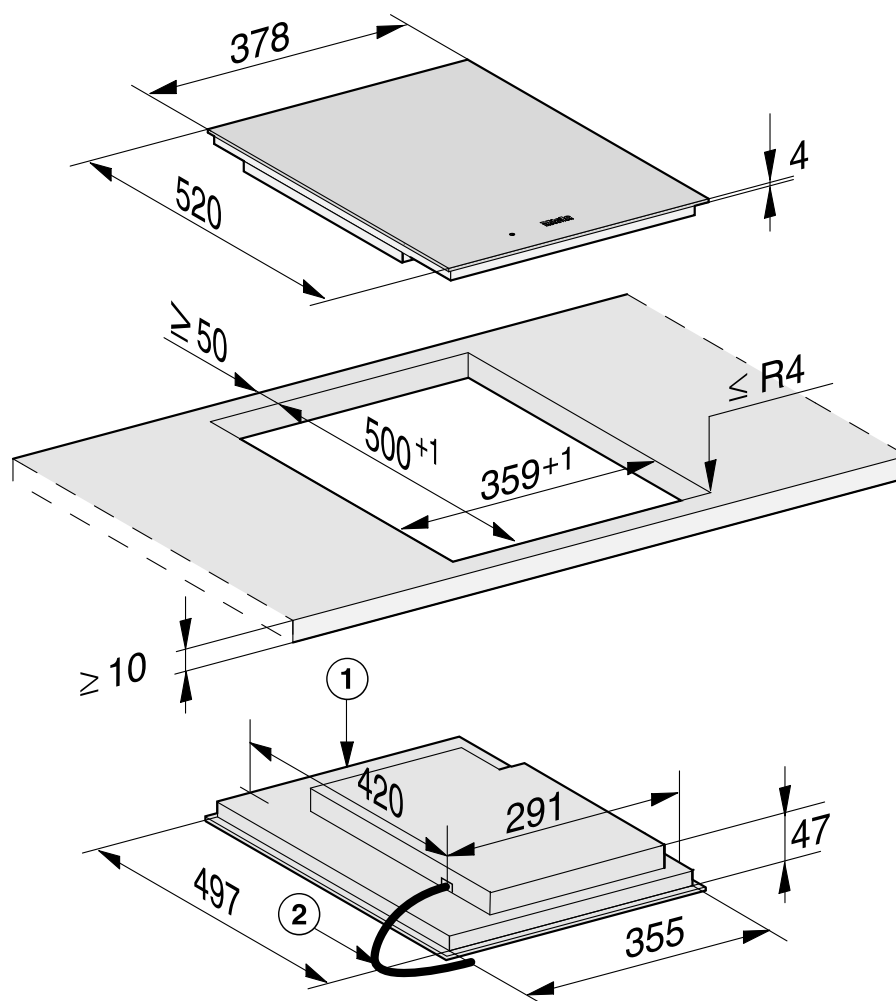
底板には、下図の位置にファン用開口を設けます。

図はカウンター表面設置の場合の開口です。フラッシュ設置にも適用されます。



4. 設置寸法

■ カウンター表面設置（ドロップイン設置）



木製のワークトップの場合

湿気による木材の膨張を防ぐため、切断面を特殊なニス、耐熱用のシリコンシーリング材または樹脂でシーリングをしてください。

※ 耐熱のシーリング材を使います。



注意

シーリング材がワークトップの上部に接触しないようにしてください。

■ フラッシュ設置

フラッシュ設置は、天然石（御影石、大理石）、硬質天板、およびタイル製のワークトップにのみ可能です。
他の素材から作られたワークトップを使用する場合は、まずクッキングヒーターのフラッシュ設置に適しているかどうかワークトップメーカーにご確認ください。

本製品の下空間の内部幅は、ワークトップ開口部の幅と同等以上である必要があります。

設置後に本体下から容易にアクセスでき、本体下部がメンテナンスのために取り外せるようにするためです。

設置後に本体下部に自由にアクセスできない場合は、クッキングヒーターを開口部から上方向に外すために、本製品の周囲の隙間を埋めるために使用したシーリング材を全て取り除く必要があります。

■ 天然石のワークトップ

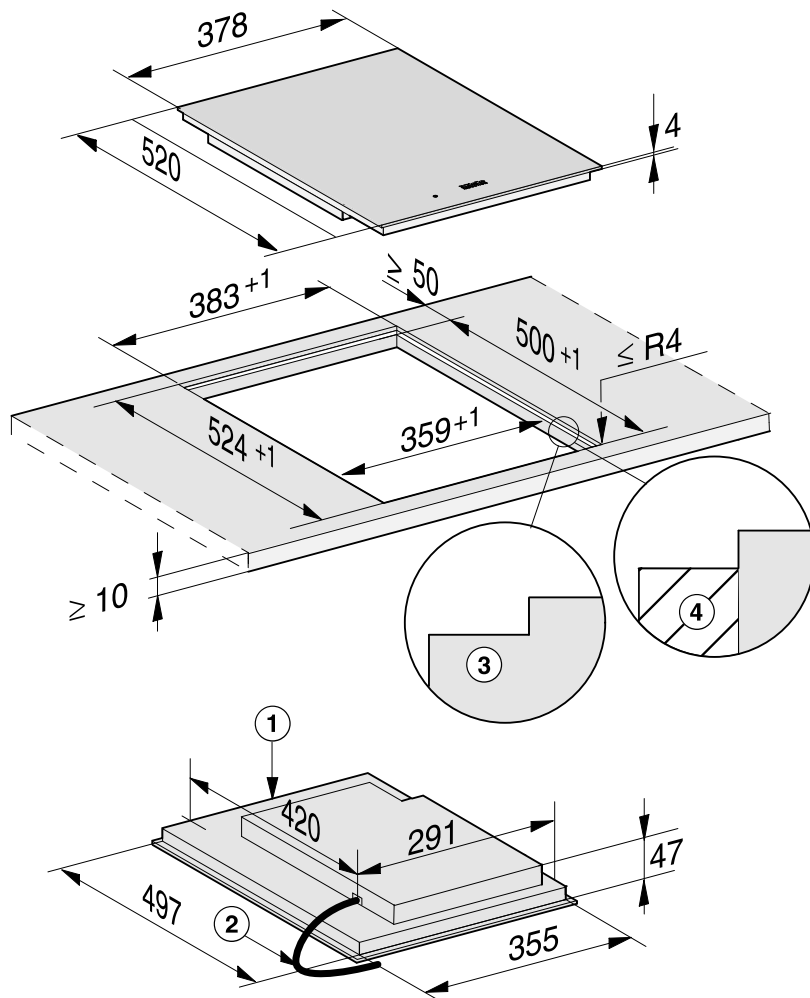
クッキングヒーターを開口部に直接設置します。

■ 硬質天板、タイル製、ガラス製のワークトップ

木製の当て木を使ってクッキングヒーターを開口部に固定します。

当て木は別途用意する必要があり、本製品には付属していません。

サービス目的で本製品を取り外した際に、
本製品の縁下のラバーフォームが破損する場合があります。
本製品を取り付け直す前に、必ずラバーフォームを
交換してください。



すべての寸法は mm 表示です。

- ① 前面
- ② 電源コード
- ③ 段付き開口
- ④ 12 mm 木枠（付属していません。）

5. 設置

■ カウンター表面設置（ドロップイン設置）の場合

● セラミックガラスの確認

本品は、セラミックガラス表面のひっかき傷などの欠点や欠損について入念に出荷検査を実施し、完璧な状態で弊社の品質管理を合格しました。

特別な梱包でセラミックガラス表面やフレームがきずついたり、欠けたりしないよう保護しています。

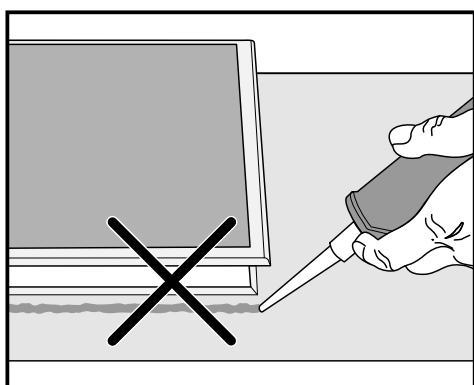
しかし、万が一納品された本品の品質にご満足いただけない場合には、直ちに弊社にお知らせください。

本品に修正を加えたり、絶対にビルトインしないでください。

本品を損傷しないようにするために、ウォールユニットを取り付けるまではビルトインしたり、カバーを取り外さないでください。

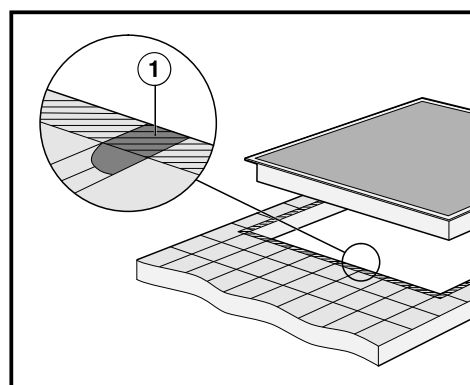
※ 何れの補償クレームについても、上記の指示に従い、速やかに弊社にご連絡して頂いた場合にのみ適用されます。

● 設置の注意



コーキング禁止

ワークトップとクッキングヒーター本体はコーキング（接着）しないでください。シーラント剤、シリコンなどで密閉してしまうと、点検やアフターサービスの妨げとなります。

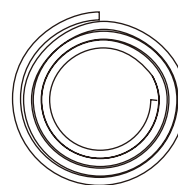


目地①と、本製品フレーム下の斜線部分は滑らかで均一でなければなりません。そうでない場合、本製品はワークトップとぴったりの高さに設置されず、機器上部の縁の下にあるシールストリップが機器とワークトップとの間を十分にシーリングしません。

● 据え付け

- ・ 付属のラバーフォーム（シールストリップ）を本体の縁の下に貼り付けます。
 - － このとき、ガラスの外縁ぴったり貼ると、本体の重さでラバーフォームが外側に飛び出てきますので、外縁ぎりぎりではなく少し内側に貼ります。
 - － 貼り付ける際にテンションをかけないでください。
- ・ 電源コードをワークトップ開口から下へ通します。
 - － ワークトップ開口に本体を設置します。
 - － ラバーフォームが全周にわたって浮きがないことを確認します。
 - － 開口に中心に設置し、傾きや隙間がないことを確認します。
 - － シールストリップが角でワークトップにうまく合わない場合は、角のアル（ $\leq R4$ ）をジグソーを使って慎重にカットして合わせます。
 - － 吸気に最適化された底板が設置されている場合は、ファンが吸気用開口の真上にくるように本体を置きます。
- ・ 電源コードをコンセントに接続します。
- ・ 試運転し、各調理ゾーンで水が沸騰することを確認します。
- ・ 試運転後、機器の電源をオフにします。

ラバーフォーム
（同梱部材）



ラバーフォーム

セラミックガラス外縁

機器据え付け後、必ず下記を確認してください。

- ① アース（D 種接地工事）が行われていること。
- ② 漏電ブレーカーが設置されていること。
- ③ ラバーフォームに浮きがないこと。左右の傾き、隙間がないこと。
- ④ 試運転後、機器の電源がオフになっていること

■ フラッシュ設置の場合

● セラミックガラスの確認

本品は、セラミックガラス表面のひっかき傷などの欠点や欠損について入念に出荷検査を実施し、完璧な状態で弊社の品質管理を合格しました。

特別な梱包でセラミックガラス表面やフレームがきずついたり、欠けたりしないよう保護しています。



しかし、万が一納品された本品の品質にご満足いただけない場合には、直ちに弊社にお知らせください。

本品に修正を加えたり、絶対にビルトインしないでください。

本品を損傷しないようにするために、ウォールユニットを取り付けるまではビルトインしたり、カバーを取り外さないでください。

※ 何れの補償クレームについても、上記の指示に従い、速やかに弊社にご連絡して頂いた場合にのみ適用されます。

● 設置の注意



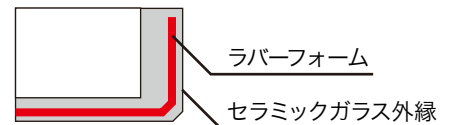
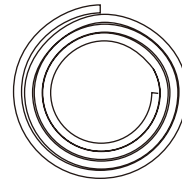
不適切なシーリング材は天然石を損傷する場合のおそれがあります。

天然石のワークトップや天然石のタイルには、天然石用に特別に配合されたシリコンシーリング剤のみを使用してください。各メーカーの指示に従ってください。

● 据え付け

- ・ 付属のラバーフォーム（シールストリップ）を本体の縁の下に貼り付けます。
 - このとき、ガラスの外縁ぴったりに貼ると、本体の重さでラバーフォームが外側に飛び出てきますので、外縁ぎりぎりではなく少し内側に貼ります。
 - 貼り付ける際にテンションをかけないでください。
- ・ 電源コードをワークトップ開口から下へ通します。
- ・ ワークトップ開口に本体を設置します。
 - ラバーフォームが全周にわたって浮きがないことを確認します。
 - 開口に中心に設置し、傾きや隙間がないことを確認します。
 - シールストリップが角でワークトップにうまく合わない場合は、角のアール（ $\leq R4$ ）をジグソーを使って慎重にカットして合わせます。
 - 吸気に最適化された底板が設置されている場合は、ファンが吸気用開口の真上にくるように本体を置きます。
- ・ 電源コードをコンセントに接続します。
- ・ 試運転し、各調理ゾーンで水が沸騰することを確認します。
- ・ 試運転後、機器の電源をオフにします。
- ・ シーリングします。
 - 開口の中心に本体が配置されていることを確認します。
 - セラミック面とワークトップの間の隙間は、少なくとも 2mm なければなりません。これは、クッキングヒーターをシーリングするために必要です。
 - クッキングヒーターとワークトップの間の隙間を、耐熱温度 160° C 以上のシリコンシーリング材でシーリングします。

ラバーフォーム
（同梱部材）



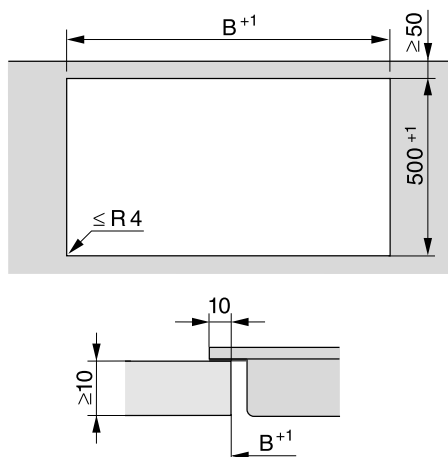
機器据え付け後、必ず下記を確認してください。

- ① アース (D 種接地工事) が行われていること。
- ② 漏電ブレーカーが設置されていること。
- ③ ラバーフォームに浮きがないこと。左右の傾き、隙間がないこと。
- ④ 試運転後、機器の電源がオフになっていること。

6. 複数機器の並列設置の場合

■ カウンター表面設置（ドロップイン設置）の場合

● 開口寸法

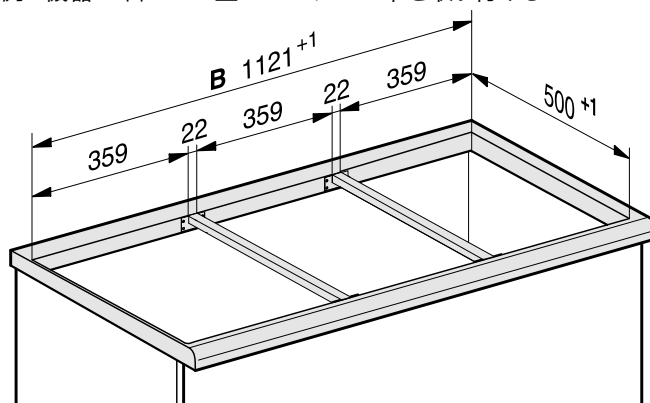


組み合わせの例	台数 x 幅 [mm] 調理機器	寸法 B [mm]
	1 x 378	359
	2 x 378	740
	1 x 378 1 x 620	982
	3 x 378	1121

● バー型スペーサーの取り付け

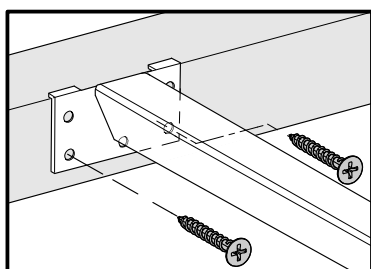
複数の機器を設置する場合は、それらの間にバー型スペーサー（品番 CSZL 7000）を取り付ける必要があります。

例：機器 3 台とバー型スペーサー 2 本を取り付ける



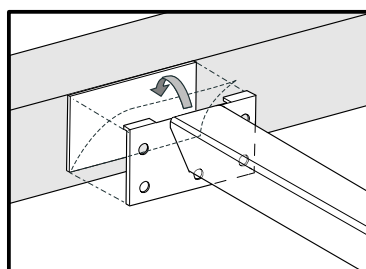
木製ワークトップの場合

バー型スペーサーを開口の上端と同じ高さにセットします。
付属の木ねじ (3.5 x 25 mm) を使ってバー型スペーサーを固定します。その際に 2 つの外側の穴を使用します。
(CS 7612 FL では中央の穴は使いません)



天然石などのワークトップの場合

バー型スペーサーを固定するには、頑丈な両面テープ（付属していません）が必要です。
ワークトップ開口の上端に沿って両面テープを貼り付けます。
バー型スペーサーを開口の上端と同じ高さにセットします。
バー型スペーサーをしっかりと押しつけます。



※ バー型スペーサーに付属しているクリップは、クッキングヒーターの設置には使用しません。

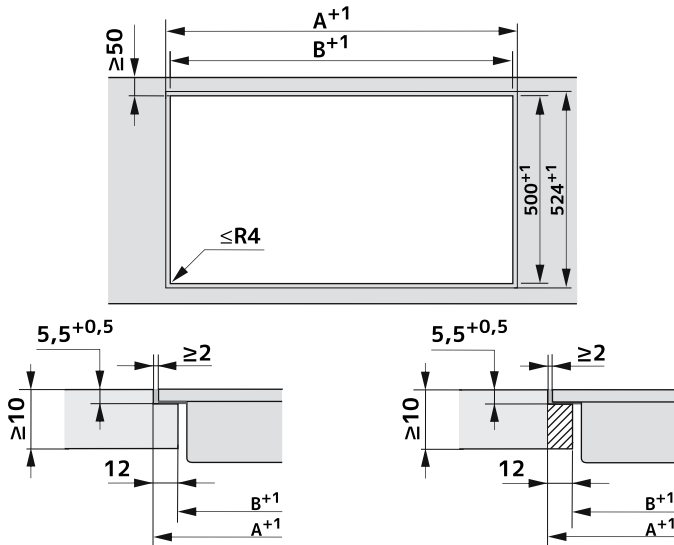
● 据え付け

前述「設置」-「据え付け」に従って機器を設置します。

機器間の隙間を耐熱温度 160℃以上のシリコンシーリング材でシーリングします。

■ フラッシュ設置の場合

● 開口寸法

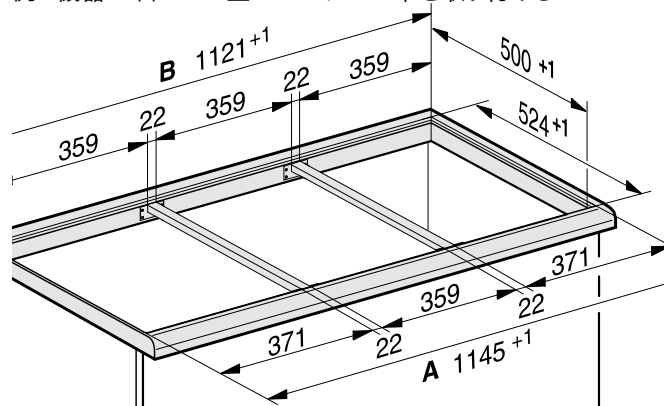


組み合わせの例	台数 x 幅 [mm] 調理機器	寸法 A [mm]	寸法 B [mm]
	1 x 378	383	359
	2 x 378	764	740
	1 x 378 1 x 620	1006	982
	3 x 378	1145	1121

● バー型スペーサーの取り付け

複数の機器を設置する場合は、それらの間にバー型スペーサー（品番 CSZL 7000）を取り付ける必要があります。

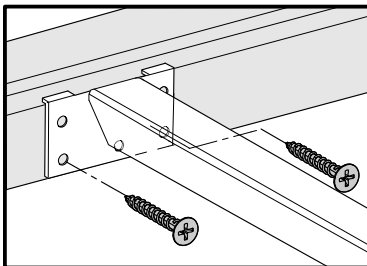
例：機器 3 台とバー型スペーサー 2 本を取り付ける



木製ワークトップの場合

バー型スペーサーを段付き開口の下段と同じ高さにセットします。

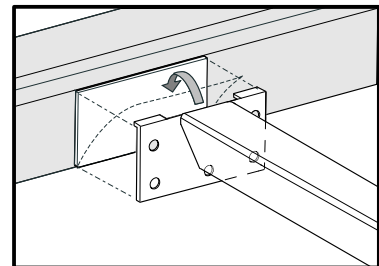
- 付属の木ねじ (3.5 x 25 mm) を使ってバー型スペーサーを固定します。その際に 2 つの外側の穴を使用します (CS 7612 FL では中央の穴は使いません)



天然石などのワークトップの場合

バー型スペーサーを固定するには、頑丈な両面テープ（付属していません）が必要です。

- 段付き開口の下段にテープを貼り付けます。
- バー型スペーサーを段付き開口の下段と同じ高さに合わせます。
- バー型スペーサーをしっかりと押しつけます。



※ バー型スペーサーに付属しているクリップは、クッキングヒーターの設置には使用しません。

● 据え付け

前述「設置」-「据え付け」に従って機器を設置します。

機器間および機器とワークトップの間の隙間を耐熱温度 160℃以上のシリコンシーリング材でシーリングします。